

教科(科目)	福祉(介護過程)	実施学年 (履修規定)	第3学年 必須
単位数	福祉科(2単位)	教科書	介護過程(中央法規)
		副教材	
科目の目標	人間としての尊厳の保持と自立生活支援の観点から介護過程の意義と役割を理解し、介護過程が展開できる能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用者に応じた適切な介護の提供には、介護過程が必要なこと及び介護過程の一連の流れについて理解させる。 ・介護過程の展開については、将来の自立に向けた生活課題の解決及び目標の設定、サービス利用者の希望を尊重した介護計画の立案など介護過程の要素を理解させ、介護従事者として必要な視点と能力を身に付けさせること。 ・介護過程の実践的展開については、介護過程の理論面との関連を図り、実践すること。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	介護過程の実践的展開	<ul style="list-style-type: none"> ○介護過程の実践的展開 <ul style="list-style-type: none"> ・事例で学ぶ介護過程の展開 ○アセスメントの実際 <ul style="list-style-type: none"> ・事例をもとにアセスメントを展開 	ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の基本内容が理解できている。 ・事例をもとに利用者をアセスメントすることができる。
5	介護過程の実践的展開	<ul style="list-style-type: none"> ○「介護過程」展開の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・事例をもとに介護過程を展開 	ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の全体的像が理解できている。 ・事例をもとに介護過程を展開できる。
中間考査				
6	介護過程の実践的展開	<ul style="list-style-type: none"> ○介護過程の実践的展開 <ul style="list-style-type: none"> ・事例での介護過程の展開 ○応用実習 	ワークシート レポート確認 実習記録	<ul style="list-style-type: none"> ・応用実習で受け持ち利用者の介護過程の展開ができるようシート利用の準備ができている。
7		<ul style="list-style-type: none"> ○応用実習 	実習記録	<ul style="list-style-type: none"> ・応用実習における受け持ち利用者の介護過程を展開し、適切に記録に残すことができる。
期末考査				
8	夏期休暇	○夏季休業中の課題	実習記録	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録をもとに介護過程の展開を整理する。
9	介護過程の展開の実際	<ul style="list-style-type: none"> ○応用実習における介護過程の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・実習の振り返りからの介護過程の評価 	実習記録 ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・応用実習における介護過程の展開を自己評価できる。
10		<ul style="list-style-type: none"> ○応用実習における事例研究 <ul style="list-style-type: none"> ・事例研究発表に向けて介護過程の展開をまとめる。 	発表原稿	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の展開をわかりやすく発表原稿にまとめることができる。
中間考査				
11	介護過程の展開の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程実践報告のまとめ ・事例研究発表会 ・グループでの意見発表や討議をおこなう。 	発表内容 発表態度 相互評価	<ul style="list-style-type: none"> ・報告を分かりやすく整理し、発表することができる。
12		○介護過程とチームアプローチ	ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・チームアプローチについて

		・介護過程とケアマネジメントの関係性 ・チームアプローチにおける介護福祉士の役割		理解できている。
期末考査				
1	利用者の生活と介護過程	○利用者の生活と介護過程の展開 ・利用者のさまざまな生活と介護過程の展開	ワークシート 自己評価	・利用者のさまざまな生活を支える介護過程について考えようとする事ができる。
学年末考査				

評価の観点及び趣旨

科目を2年間で分割履修する2年目である。「介護実習」で多様な介護現場を実際に学ぶため介護実習（応用実習）において6月初旬から7月末にかけて24日間の実習を実施する。その実習で実際の介護過程の展開が実施できるように、事前学習、実習中、実習後の指導を計画的に指導する。

①関心・意欲・態度

サービス利用者が人間としての尊厳を保持しながら自立した豊かな生活が送れるよう支援しようとする意欲や態度が身についている。

②思考判断

サービス利用者の自立や豊かな生活につながる幅広い介護計画を立案し、検討することによって、ICF・利用者主体・自立生活支援・QOLの向上など介護の目的に即した介護従事者として必要な視点から思考・判断することができる。

③技能・表現

利用者の状況に応じた介護過程を展開する技能を有し、その実践についてわかりやすく情報機器等を用いて、表現することができる。

④知識・理解

人間としての尊厳の保持と自立生活支援の観点からの介護過程の意義と役割及び展開を他科目で学んだ知識と統合しながら、理解することができる。

「介護過程」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	20%程度	②思考判断	30%程度
③ 技能・表現	25%程度	④知識・理解	25%程度